

中学部の教育

(1) 中学部の教育目標

<p><普通学級（知的障害）> ア 健康で元気に生活するリズムを整え、心と体を培う。 イ 考える力、学ぶ力や働く態度を育て、主体的に集団活動や社会生活に取り組む。 ウ 学習や生活経験を通して、適切に表現する力を習得する。 エ 友達や周りの人を大切にし、意欲的に生活する力を育てる。</p>	<p><普通学級（自閉症）> ア 健康で元気に生活するリズムを整え、心と体を培う。 イ 考える力、学ぶ力や働く態度を育て、主体的に社会生活に取り組む。 ウ 学習や生活経験を通して、適切なコミュニケーション手段や能力を習得する。 エ 人との関わりを大切にし、状況に合わせて生活する力を育てる。</p>	<p><重度・重複学級> ア 健康で元気に生活する心と体を培う。 イ 考える力、学ぶ力を育て、意欲的に学習に取り組む。 ウ 学習や生活経験を通して、表現する力を育てる。 エ 友達や周りの人を大切にし、ともに生活する力を育てる。</p>
--	---	---

(2) 教育目標を達成するための基本方針

- ア 家庭や関係機関と連携し、基本的な生活習慣や態度を養い、健康的な生活を保持する。
- イ 生徒の障害の状況を理解し、安心して安全な学校生活を送れるようにする。
- ウ ICT機器を活用し、生徒自らが積極的に取り組む「できる学習」環境を充実させる。
- エ さまざまな体験を設定し、興味や関心をひろげるとともに、表現力やコミュニケーション能力を育てる。
- オ 生徒の障害の状況を的確に把握し、保護者と教育ニーズについての共通理解を図りつつ、教育内容や指導方法を工夫する。
- カ 外部専門員と連携し、生徒一人一人に応じた「個別指導計画」、「学校生活支援シート（個別の教育支援計画）」の作成と活用に努める。
- キ 小・中学校等と連携し、副籍事業の推進、交流及び共同学習の充実に努め、地域における特別支援教育推進の要となる。
- ク 学校運営連絡協議会提言や学校評価を活用し、専門家や保護者と共に教育内容の改善を図っていく。